

自然体験活動幼児プログラム
51. 森のお医者さん

1. ね ら い

- (1) 樹木と直接触れあうことで、樹木への親近感・関心を高めます。
- (2) 樹木を擬人化することで、植物を生物として捉え、その命を考えるきっかけを作ります。

2. 時期・時間

- ・年間を通じて活動可能。
- ・1時間程度

3. 準 備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
聴診器	なし

4. 活動内容

(1) 活動場所

自然の家活動エリア内の樹木がある場所
(お亀茶屋裏周辺やキャンプ場、宿泊棟もり・ほし棟前等が適している。)

(2) 活動内容

各自が聴診器を持ち、木の幹に集音部をあてて、木の音を聞く活動です。

①説明

樹木も生きていることを説明し、その様子を聴診器で調べてみよう、と参加者の動機付けを行います。「木の中から不思議な音がするんですよ。」という動機付けも有効です。

聴診器の取扱説明(集音部は特に壊れやすいので、丁寧に扱ってください。)
集音器はできるだけ平らな面にあてると、音が聞こえやすいです。
雑音が入らないように静かに活動するよう注意します。

②観察

10～15分程度自由に樹木の音を聞きます。
(参加者の年齢等により時間を調節してください。)

③ふりかえり

観察が終わったら、全員であつまって、どんな音が聞こえたか?何の音だと思うか?など話し合います。幼児の場合「木はどんなことを言っていましたか?」という擬人化した想像も楽しいでしょう。

※聞こえる音は科学的には何かは証明されていません。皆で音源を想像するまでにとどめ、結果を断定する事は避けましょう。

5. 留 意 点

- (1) 活動中は引率指導者間の連絡を密にし、子どもたちを常に掌握し安全と事故防止に努めましょう。事前に素材探しのフィールド設定を行い、危険がないか確認しておきましょう。
- (2) 自然を大切に、むやみに動植物を採取したり傷つけたりしないよう注意しましょう。